

## 遺愛もクリスマススムードに 入りました！！

11月24日（水）17：30より遺愛の正門前にあるクリスマスツリーの点灯式が行われました。例年より点灯時刻を1時間以上を遅くしたにもかかわらず、300名以上の生徒・教職員が残ってツリーの前に集いました。

宗教主任の百武先生の司式で讃美歌を歌い、聖書を読み、祈祷が行われ、参加者全員で声をあわせてカウントダウンをしました。「スリー・ツー・ワン・ゼロ」の発声と共に、真っ暗な遺愛のキャンパスに一斉に小さな光がキラキラと輝き始めました。いよいよ遺愛もクリスマススムードに入りました。

遺愛の正門前のクリスマスツリーはヒマラヤ杉で、1986年3月に遺愛女子高校を卒業した第38期生が卒業記念として植樹してくれたものです。今年で36年目を迎えました。植樹当時と比べてずいぶん高く大きくなりました。

すでにこの日の昼、13時半から2年ぶりに遺愛PTA文化部のクリスマス礼拝が講堂（例年はホワイトハウスで行いますが密をさけるため）で守られ、約30人の保護者の方々が集い、イエスキリストの誕生を共にお祝いしました。

12月2日（木）に後期中間テストが終了しますので、その午後に、各クラスのクリスマス係が集まり、校内にあるクリスマスツリーの装飾、各教室の扉に飾るリース作り、クリスマス礼拝で行うキャンドルサービスの際に使用するキャンドルの準備などをします。

今年も新型コロナの関係で、生徒が4つに分かれて、市内の病院、福祉施設、幼稚園、教会、函館駅などをまわって讃美歌・クリスマスソングを歌う

「キャロリング」、市民と共に講堂でお祝いする「クリスマスのゆうべ」は中止になります。

しかし12月18日（土）に全校でお祝いするクリスマス礼拝では2年ぶりにハレルヤコーラスが復活する予定です。音楽科・宗教部の先生方がコロナ対策を綿密に練りますので、安全でしかも思い出に残るハレルヤになることを願っています。 2021年11月30日（火）

